

ペンディメタリン乳剤 ゴーゴーサン乳剤	取扱メーカー： クミカ [*] ，BASF 原体メーカー： BASF
成分： ペンディメタリン〔ジニトロアニリン系 PRTR・1種〕…30.0%	性状： 暗褐色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】

- 雑草発生前の土壌処理により一年生イネ科雑草及び広葉雑草に幅広い除草効果を発揮する。
- 野菜，その他広範囲の畑作物に使用できる。
- 雑草の発生を45～60日間と長期間抑制する。
- 土壌中の移行性が小さく安定した処理層を形成するので作物への安全性が高い。
- 温度，日照，土壌などの環境条件によらず安定した効果を発揮する。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 雑草の発生前～発芽時に有効であるが，雑草の生育が進むと急激に効果が低下するので，使用時期を失しないように散布する。
- イネ科及び広葉の一年生雑草に効果があるが，キク科雑草とツユクサには効果が劣るので，これらの雑草の優占圃場では使用しない。
- 土壌が極端に乾燥している場合は効果が劣るので，希釈水量を多めにするか又は降雨後に散布する。
- 砕土，整地は丁寧に行い，は種後に使用する場合は，種子が露出しないように覆土はできるだけ丁寧に行う。
- 激しい降雨が予想される時には使用をさける。

【薬効・薬害等の注意】

- ソルガムに使用する場合，覆土深は3 cm以上とする。また散播では使用しない。
- 桑にはかからないように注意する。
- うど及びにらで畦間土壌散布を行う場合，飛散防止カバーを使用して作物にかからないように散布する。

- 適用作物（野菜ほか）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（まめ類）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- かんしよで畦間土壌散布を行う場合，薬液が作物に飛散すると葉の奇形症状の薬害を生じるおそれがあるので，作物に飛散しないように注意する。

【安全対策上の注意】

- 薬剤が黄色いため，衣服などが汚れることがあるので付着しないよう注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い，使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は，河川等に流さない。また，空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 公園，堤とうなどで使用する場合，特に以下のことに注意する。
 - 散布薬液の飛散，あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布する。
 - 水源地，養魚池などに本剤が飛散・流入しないよう十分に注意する。
 - 散布に当っては，小児や散布に関係のない者が，作業現場に近づかないように配慮するとともに，居住者，通行人，家畜などに被害を及ぼさないように注意を払う。
 - 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。
 - 自動車などにかからないようにする。



【適用と使用方法】

作物名		適用 雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	適用 地帯	ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量				
陸 稲	一年生 雑草	全土壌	は種後出芽前 (雑草発生前)	200～ 400 ml	70～ 150 ℓ	1 回	全面土 壌散布	北海道 を除く 全域	1 回	
麦 類 (小麦を除く)				300～ 500 ml						雑草茎 葉散布 又は全 面土壌 散布
小 麦				は種後(雑草発生前)～小麦2葉期 (イネ科雑草1葉期 まで)	70～ 100 ℓ					
ソ ル ガ ム							ソルガム3葉期 (雑草発生前～ 発生始期)			300 ml
とうもろこし 飼料用とうもろこし		は種後出芽前 (雑草発生前)	300～ 400 ml	70～ 150 ℓ	全面土 壌散布					
か ん し ょ			挿苗10日後まで (雑草発生前)				200～ 400 ml	畦間土 壌散布		
さ と い も		全土壌	土寄せ後 (雑草発生前)但し、 収穫60日前まで	100 ℓ	2回以内 (土寄せ 後の処 理は1回 以内)					
							植付後萌芽前 (雑草発生前)	70～ 100 ℓ		
ばれいしょ			200～ 300 ml	100 ℓ				全面土 壌散布		
やまのいも			200～ 400 ml				北海道、 九州を 除く全 域			
こんにゃく		植付後又は培土後 (雑草発生前) 但し 植付30日後まで	200～ 300 ml	70～ 100 ℓ	1 回					
は く さ い			壤土～ 埴土						70～ 150 ℓ	
キ ャ ベ ツ カリフラワー レ タ ス 非結球レタス		定植前 (雑草発生前)	200～ 400 ml	全域						
ヤングコーン					は種後出芽前 (雑草発生前)		400 ml	畦間土 壌散布		
う ど	定植後萌芽前 (根株養成圃) (雑草発生前)	100 ℓ	2回以内 (畦間処 理は1回 以内)							
					生育期(根株養成圃) (雑草発生前) 但し収 穫60日前まで	全面土 壌散布				
たまねぎ (直播栽培)	は種後～本葉2葉 期(雑草発生前)	200～ 400 ml	70～ 100 ℓ	北海道	1 回					

作物名	適用 雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	適用 地帯	ベンディタリンを含む農薬 の総使用回数
				薬量	希釈水量				
たまねぎ (移植栽培)	一年生 雑草	全土壌	定植前 (雑草発生前)	300～ 500 ml	70～ 150 ℓ	1 回	全面土 壌散布	全域	1 回
葉たまねぎ			定植後 (雑草発生前) 但し収穫30日前まで						
			定植前 (雑草発生前)						
			植付後萌芽前 (雑草発生前)						
ねぎ			200～ 300 ml	70～ 100 ℓ	畦間土 壌散布				
にら				収穫30日前まで (雑草発生前)			100 ℓ		
にんにく		300～ 500 ml	70～ 150 ℓ	全面土 壌散布					
			植付前 (マルチ前)		70～ 100 ℓ				
葉にんにく (マルチ栽培)		壤土～ 埴土	植付後 (雑草発生前) 但し収穫60日前まで		70～ 100 ℓ				
			植付前 (マルチ前)		400～ 500 ml		70～ 150 ℓ	1 回	
葉にんにく (マルチ栽培を除く)		300～ 400 ml	100 ℓ						
			は種後出芽前 (雑草発生前)		200～ 300 ml		70～ 150 ℓ		
らっかせい		萌芽前 (雑草発生前)	200～ 400 ml						
にんじん		植付後萌芽前 (雑草発生前)	400 ml						
アスパラガス		春期収穫直後から 萌芽前まで (雑草発生前)							
しょうが		春期ふき収穫直後 から萌芽前まで (雑草発生前)	300～ 500 ml		100 ℓ				
ふき (春どり露地栽培)		生育期 (雑草発生前) 但し収穫90日前まで	200～ 300 ml		70～ 150 ℓ	3回以内 (1年間に1回 以内)			
ふき (ふきのとう)		収穫60日前まで (雑草発生前)							
と리카ぶと (薬用)		は種後出芽前 (雑草発生前)	300 ml		100 ℓ	1 回			
おけら		萌芽後 (雑草発生前) 但し収穫120 日前まで							
みしまさいこ ぼうふうし びゃくし		定植後 (雑草発生前) 但し収穫120日前まで	200～ 400 ml		70～ 150 ℓ	1 回			
せんきゅう		定植前 (雑草発生前)							
とうき いんちんこう									
食用ぎく									

作物名	適用 雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の 使用回数	使用 方法	適用 地帯	ベンディメタリンを含む農薬 の総使用回数
				薬量	希釈水量				
き く	一年生 雑草	全土壌	定植前(雑草発生前)	200～	70～ 150 ℓ	1 回	全面土 壌散布	全域	1 回
り ん ど う			定植後(雑草発生前)	400 ml					
チューリップ			萌芽前(雑草発生前)	300～					
す ぎ (床替床)			植付後萌芽前 (雑草発生前)	500 ml	100～ 200 ℓ	2 回 以内			2 回 以内
ひ の き (床替床)			床替後 (雑草発生前)	400～ 500 ml					
桑			春期発芽前又は夏 切後 (雑草発生前)	300～ 400 ml					